

握り運動で米42キロ

農協婦人部が施設へ

農業協同組合の組合員の婦人部で構成する舞鶴農協婦人部(岩崎美智子代表、二千二百六人)はこのほど「握り運動」を展開、集まった米四十二キロと一万円を九日、市内七カ所の老人ホームや福祉施設に寄付した。

お年寄りや障害者などの人たちを少しでも援助しようと毎年行われているこの運動、十一月末頃から今月初めにかけて、十六ある支部ごとに一人一人ほどの米、またはお金を持ち寄った。米は新米、古米が二十一キロずつ、お金は一万円が集まり、代表者が、特別

養護老人ホーム寿荘、やすらぎ苑、養護老人ホーム安岡園、舞鶴学園、双葉寮、みずなぎ学園、共同作業所に配り、お年寄りらを喜ばせた。

同婦人部は、健康で豊かな生活を築くための「生活教室」や、各支部ごとで手芸や食生活などの講習会を開くなどの活動をしている。

祭りですぐ暑気払い

みずなぎ学園で盆踊りなど

市内鹿原の精神薄弱者更生施設「みずなぎ学園」(岡本四寿園長)で八日、園生や職員らによる手作りの「夏祭り」が行われた。

園生同士の親ほくを深めるとともに、地域の人たちとの交流を促進しようと毎年取り組んでいるもの。九日から二週間の夏休みに入り、園生の多くが里帰りするため、みんながそろっているうちに、と

この日の、このあとのアトラクションでは「ソーメン流し」や「ヨーヨー釣り」なども店開き。この日、暦の上では「立秋」

この日に。

オープンクは盆踊り。ボランティアで民謡の指導をしている河田たけのさん(竹の子会会長)について輪をつくり、「炭坑節」や「吉田音頭」などにあわせて心地よい汗を流した。

このあとのアトラクションでは「ソーメン流し」や「ヨーヨー釣り」なども店開き。この日、暦の上では「立秋」

昭和62年6月16日

金剛院で  
清掃奉仕

市内鹿原の社会福祉法人みずなぎ学園(藤村友博園長)の園生ら約百人が十三日、日頃レクリエーションなどで利用している真言宗・金剛院の境内で、清掃奉仕にさわやかな汗を流した。

この活動は、園生らが運動やレクリエーション、写生などの場としてこの境内を利用。また、観光地として多くの園生らが訪れる場所でもあることから、日頃の感謝の気持ち



盆踊りを楽しむ園生ら

を迎えながむし暑い一日。園生らは花火遊びに歓声をあげた。大いに楽しんでいる様子だった。暑い日の夜祭りを



草取りに汗を流す園生ら

を込めて環境美化に協力しようとして毎年行われているもの。園生らは、境内や鹿原川の